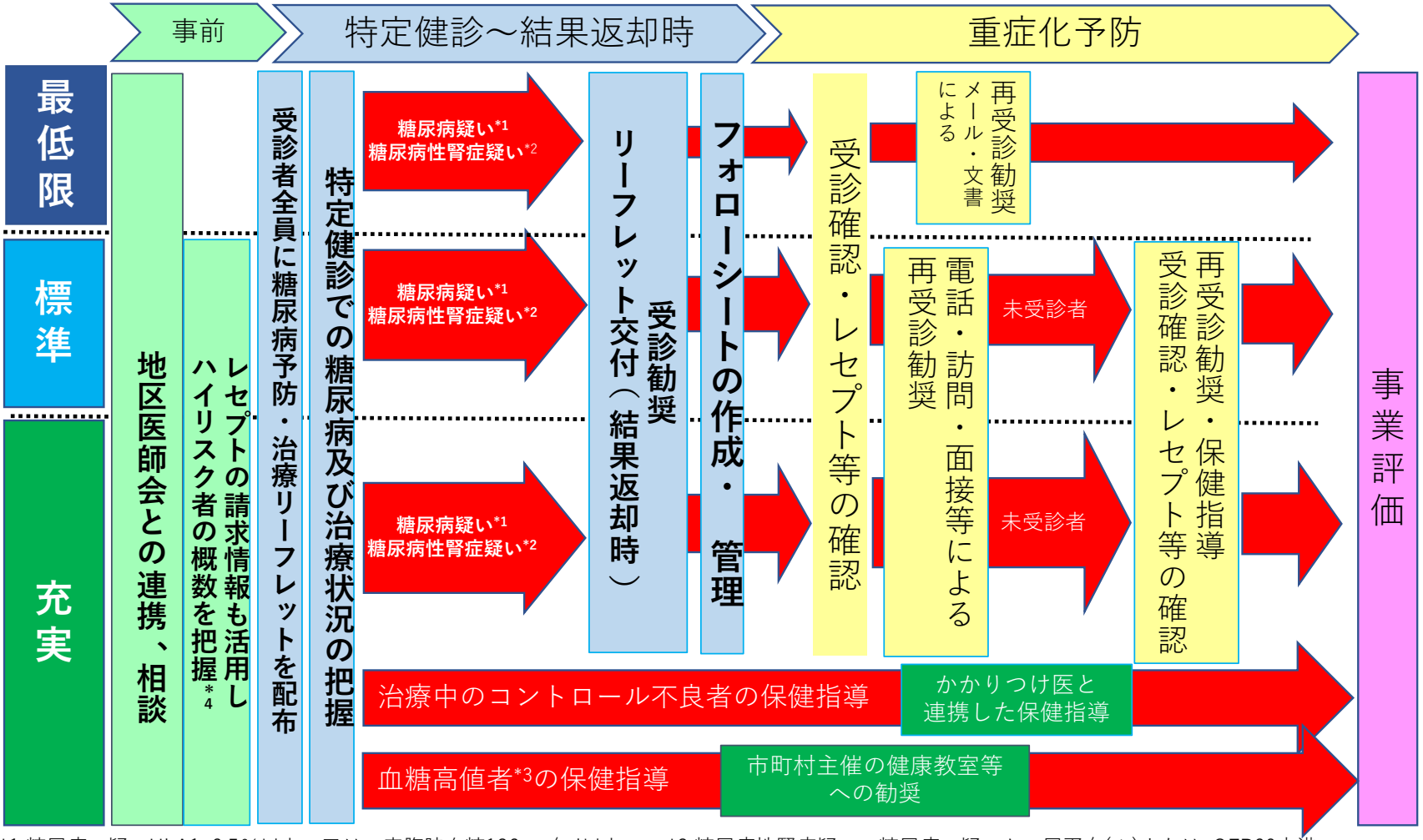
資料６

行動変容推進事業フォローアップ研修会
アンケート調査結果報告

【糖尿病対策】

大阪がん循環器病予防センター
岡田武夫

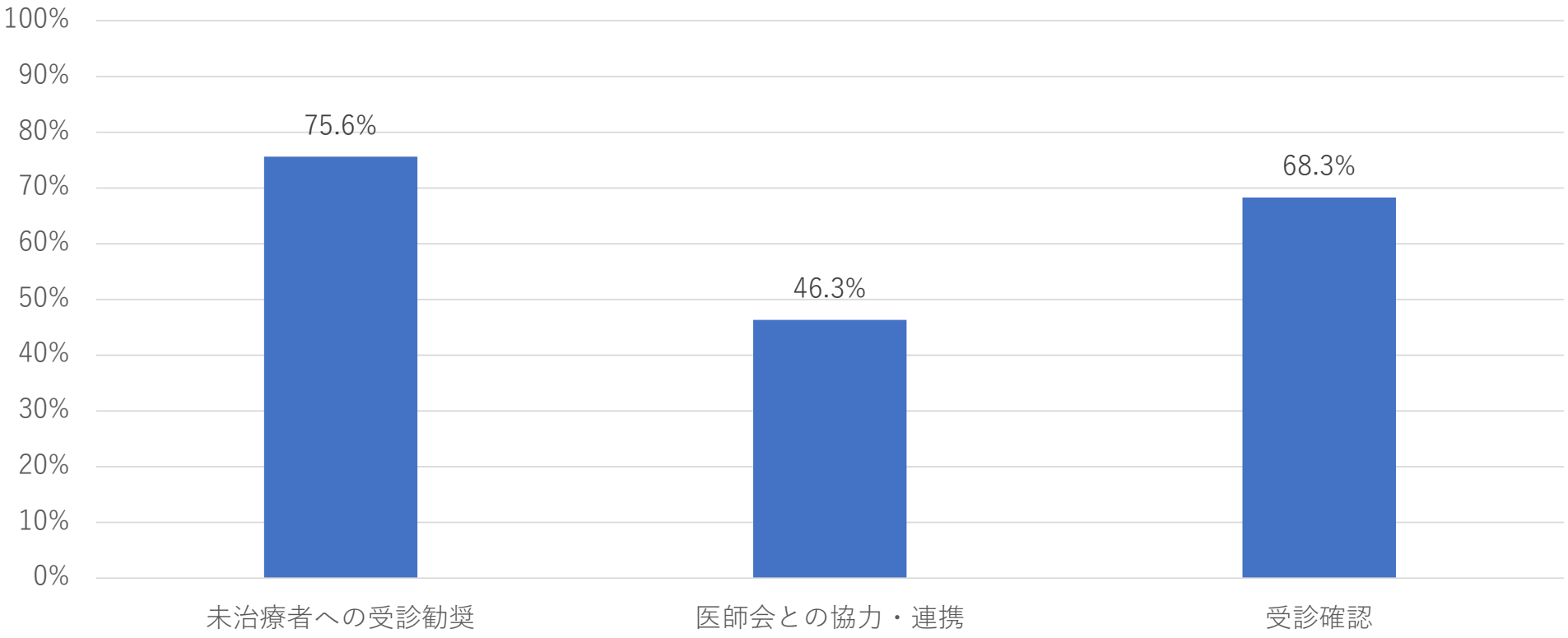
糖尿病対策
（糖尿病性腎症重症化予防を含む）



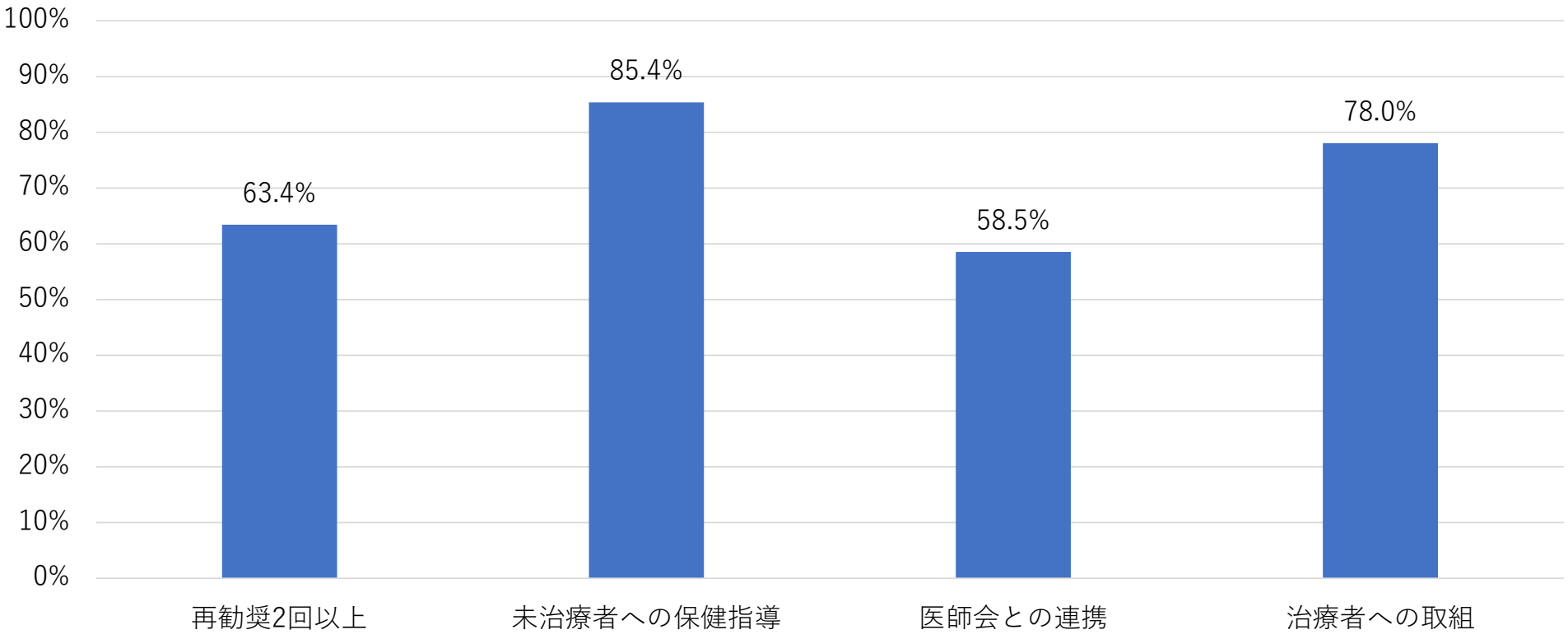
*1 糖尿病の疑いHbA1c6.5％以上　又は、空腹時血糖126mg/ml以上　　*2 糖尿病性腎症疑い　糖尿病の疑いかつ尿蛋白(±)またはeGFR60未満

*3血糖高値者　HbA1c6.0～6.5％未満　　*4 ハイリスク者　　糖尿病予備群、未治療者、糖尿病性腎症対象者

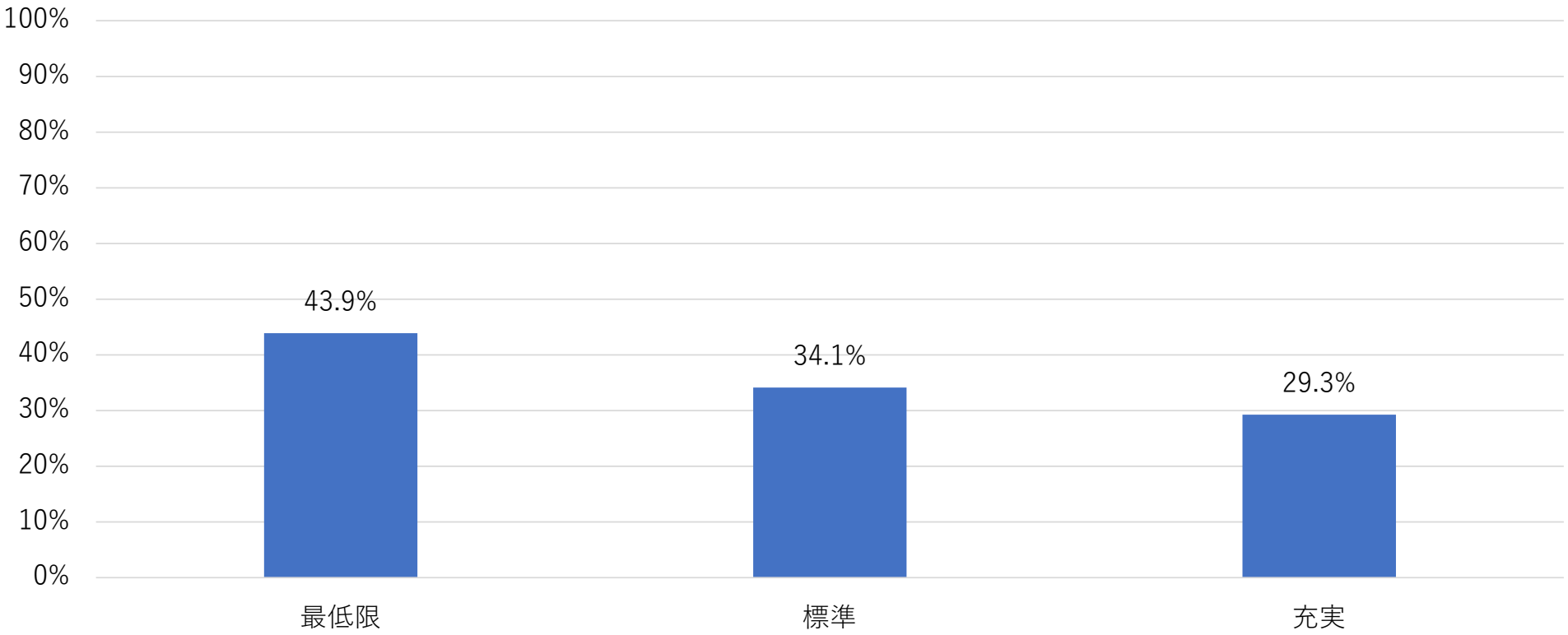
最低限の取組に該当する項目の実施率



標準・充実した取組に該当する項目の実施率



プログラムへの適合



糖尿病対策の実施状況

- 未治療者への受診勧奨、保健指導が多くの市町村で実施されている
- 治療者への取組も80％を超える市町村で実施されている
- 最低限の取組は50％強にとどまる
- 医師会との協力・連携がネックになっていると考えられる
- 保健指導での医師会との連携は70％を超える
- 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施が、医師会との連携に役立っているのではないか

効果的な取組の事例

- 糖尿病性腎症重症化予防事業をあげたところが、７市町
- 個別的な受診勧奨、保健指導など
- 治療者への保健指導などの取組
- 長期にわたる支援
- グルコースモニタリングや頸部血管エコー検査など、追加の検査の実施

高血圧・糖尿病に共通する課題

- 疾患に関する知識・認識
  - 患者・健康人・医療従事者・・・
- 医師会・医療機関との連携
  - 予防・重症化予防への認識の差があるのではないか
  - 高血圧・糖尿病の診療の目的は「合併症の発症・再発の予防」
- 自治体が行っている事業への無関心
  - 医療機関の現場は忙しすぎる
  - 自治体の事業は「他人事」